積層形表示灯 インテリジェントタワー シリーズ

取扱説明書 (操作用)

小形、直径 40/50/60mm、Modbus/TCP(Ethernet)、アクセスポイント、1~5 段ランプ

無線 LAN 表示灯

形式 IT40SW4 / IT50SW4 / IT60SW4

目 次

	2
各部の名称	
■ 前面図	
■ 底面図	
= ~ = −	
■ 動作モード設定(Mode)	4
■ IP アドレスリセット設定 (IP Reset) ····································	4
	-
	5
■ Web ブラウザによる接続	5
■ 設定メニュー	
機器情報	6
■ 設定項目	6
■ 設定の保存	6
TCP/IP 設定 ······	7
■ 設定項目	7
Modbus/TCP 設定 ······	
■ 設定項目	
無線 LAN 設定 、 · · · · · · · · · · · · · · · ·	
■ アクセスホイントとステージョン····································	
■ アクセスボイントとして動作させる場合の設定	
■ ステーションとして動作させる場合の設定	10
■ リビータとして動作させる場合の設定	
■ 使用可能チャネルと帯域幅	
■ 恐会语日	13
■ 設定項日	
 I/O 于二夕 ······	14
■ 操作佰日	
	14
■ 操作項目	
	10
 メンテナンス ·····	
■ 操作項目	
	10

機能概要

●表示灯

1~5段の積層表示ランプを Modbus/TCP による通信、または接点入力により点灯/点滅の制御が可能。 点滅制御は通信または接点の ON のみで 2Hz または 10Hz の点滅が可能。

●ブザー

Modbus/TCP による通信、または接点入力により連続、断続の鳴動制御が可能。 断続制御は通信または接点の ON のみで 2Hz または 10Hz の断続が可能。

●通信

IEEE802.11abgn(IEEE802.11n は最大 300Mbps 接続可)に準拠した無線機能搭載。 アクセスポイント、ステーション、リピータ、3 つのモードで動作可能。 アクセスポイント配下に最大 2 台のリピータを数珠つなぎし、無線子機(ステーション)の無線接続可能エリアを拡大可能。 100BASE-TX の Ethernet 搭載、無線通信とのブリッジ機能により、Ethernet 機器の通信を無線に変換可能。※1 タブレット、スマートフォンを簡単に接続するため、簡易 DHCP サーバ機能を搭載。 ※1 IP 通信(TCP、UDP)に限ります。IP 通信を使用しない Ethernet 通信(EtherCAT 等) をブリッジすることはできません。

●設定

設定用のWebサーバを搭載しており、PCやタブレット、スマートフォンから接続して設定の変更が可能。 設定画面への接続は、ユーザ名、パスワードに入力よる保護。

●入出力

表示ランプ、ブザー制御用接点7点と、コモン2点の接点入力を搭載。

各部の名称



■状態表示ランプ

ランプ名	表示色	状態	動作	
Power	緑色	点灯	供給電源 ON	
		点滅	IP Reset スイッチ ON	
		消灯	供給電源 OFF または機器異常	
Run	緑色	点灯	Modbus/TCP 通信時	
Link	緑色	点灯	Ethernet リンク確立時	
		点滅	10BASE(10Mbps)送受信時	
Link100	緑色	点滅	100BASE(100Mbps)送受信時	
COL	緑色	点滅	Ethernet コリジョン発生時	
WLAN1	緑色	点灯	無線子機(ステーションまたは下位リピータ)接続時 ※1	
		点滅	無線子機送受信 ※1	
		消灯	無線子機未接続時	
			アクセスポイント動作時かつ上位リピータと組み合わせて運用している場合、上位リピータと無線接続	
			できない異常状態を示します。	
			上位リピータ動作時かつ下位リピータと組み合わせて運用している場合、下位リピータと無線接続でき	
			ない異常状態を示します。	
WLAN2	緑色	点灯	無線親機(アクセスポイントまたは上位リピータ)接続時 ※2	
		点滅	無線親機送受信 ※2	
		消灯	無線親機(アクセスポイント)未接続時	
			リピータ動作時、アクセスポイントまたは上位リピータと無線接続できない異常状態を示します。	
			ステーション動作時、アクセスポイントと無線接続できない異常状態を示します。	

※1ステーション動作時は無線子機と接続しないため、点灯/点滅しません。

※2アクセスポイント動作時は無線親機と接続しないため、点灯/点滅しません。

■動作モード設定(Mode)

(*)は工場出荷時の設定

●ランプの点滅周期設定(Mode-1)

Mode-1	ランプの点滅周期
OFF	約 2Hz (*)
ON	約 10Hz

●ブザー音の断続周期設定(Mode-2)

Mode-2	ブザー音の断続周期
OFF	約 2Hz (*)
ON	約 10Hz

●ブザーの音圧レベル設定 (Mode-3、Mode-4)

· · · "		···· · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Mode-3	Mode-4	ブザーの音圧レベル
OFF	OFF	小 (*)
OFF	ON	中
ON	OFF	大
ON	ON	最大

●通信断時出力設定(Mode-6)

OFE $\mu \pm \mu \pm \mu = (\mu \pm OFE)$ (*)	
OFF 出力グリア(出力OFF)(")	
ON 出力保持(前回正常受信データを保持)	

入力選択で Modbus/TCP の時のみ有効。

●出力論理反転設定(Mode-7)

Mode-7	出力論理反転
OFF	非反転 (*)
ON	反転

入力選択で接点入力の時のみ有効。

点滅(COM2)接点を使用してのランプ点滅、BUZZER2 接点を使用してのブザー断続を使用時、反転設定は正常に機能しませんので、 OFF(非反転)の設定でご使用ください。

●入力選択設定(Mode-8)

	-1 /
Mode-8	入力選択
OFF	Modbus/TCP (*)
ON	接点入力

ランプ制御とブザー制御の入力信号を選択します。

■IP アドレスリセット設定 (IP Reset)

IP Reset	IPアドレスリセット
OFF	通常 (*)
ON	IP アドレス初期化

IP Reset を ON にして本器の供給電源を ON すると、Power ランプが点滅し、本器の設定を工場出荷時の設定値で初期化します。 Power ランプの点滅を確認後、IP Reset スイッチを OFF に戻すと機器が自動的に再起動し、初期化した設定で機器が動作開始します。 IP アドレス設定等がわからなくなったときなどにご使用ください。

通信接続

■Web ブラウザによる接続

本器の設置後は、Ethernet を介して PC やタブレット、スマートフォンの Web ブラウザから初期設定を行う必要があります。初期設定では、IP アドレス等の TCP/IP 設定や、無線 LAN 設定など本器の機能に関する設定を使用方法に合わせた内容に設定します。

本器のWebサーバ機能は、HTML5をサポートする多くのWebブラウザ環境でご利用いただけるように設計していますが、すべてのWebブラウザ、環境での利用は保証できません。弊社で動作確認したWebブラウザであっても、Webブラウザの設定やインストールされているセキュリティソフトなどにより、表示が乱れる、特定の機能が動作しない、端末の画面サイズにより一部表示が見切れるなどの可能性があることをご了承ください。

弊社にて動作確認した Web ブラウザを下表に列挙します。

動作機器	Web ブラウザ
Windows 10 または Windows 11 が動作する PC	Microsoft Edge 126.0
	Firefox 127.0
	Chrome 126.0
iOS17 が動作する iPhone または	Safari
iPad OS17 が動作する iPad	Chrome 126.0
Android14 が動作するスマートフォンまたはタブレット	Chrome 126.0

本器の IP アドレスは出荷時設定値で 192.168.0.1 となっておりますので、本器を設定する PC 等のアドレスを 192.168.0.5 等の 192.168.0.1 と通信可能なアドレスに設定して本器と Ethernet ケーブルで接続してください。

接続後、接続した PC 等の Web ブラウザ画面で http://192.168.0.1/ に接続してください。

正常に接続が行われると、右図のような画面が Web ブラウザ上 に表示されます。Web ブラウザの表示はお使いの OS や、Web ブラウザの種類、バージョンによって異なります。

本器の設定用ユーザ名とパスワードは出荷時設定値でユーザ 名、パスワードともに admin となっておりますので、それを 入力してください。入力後、右下図のような設定メニューが表 示されます。

■設定メニュー

ログアウト ボタン操作で、設定メニューに入る前の画面に戻り ます。

	<u>а</u> –	ザ認証
ユーザ名		
パスワード		
	D :	ダイン
ら ログアウト	設定ン	<=
設定		操作
機器情報		1/0モニタ
TCP/IP設定		無線モニタ
Modbus/TCP設定		メンテナンス
無線LAN設定		
DUCDRA		
DHCP設定		
DHCPI&		
DHCP182		
DHCP18t		
DHCP18:2		

機器情報

設定メニューの機器情報で下表の項目が設定できます。

5 戻る		機器情報	保存 🖌
タグ	test-tag		8/16
設定ユーザ名	admin		5/32
設定パスワード	admin		5/32

■設定項目

項目	説明	初期値
タグ	本器のタグ(名称)を設定できます。 設置場所や、それを類推できるような名称を設定することをおすすめします。 16文字までの任意の文字で設定可能です。	
設定ユーザ名 / 設定パスワード	設定メニューにログインするためのユーザ名、パスワードを変更できます。 本設定は、出荷時設定値から変更することを強くおすすめします。 32 文字までの任意の文字で設定可能です。	admin / admin

■設定の保存

設定画面内の各設定内容を変更後、画面右上の保存ボタン操作で、本器に設定して前の画面に戻ります。画面左上の戻るボタン操作した際は、変更を設定せずに前の画面に戻ります。この手順は、機器情報のみならず、他の設定でも同じです。

設定保存後、設定メニューに戻ると、下図のように再起動するボタンが現れます。他に設定変更する場合は設定変更を継続し、設定変 更完了であれば、再起動するボタンを操作して機器を再起動して、設定変更内容を機器に適用してください。

設定変更を適用するには機器を再	起動しなければなりません。	
	再進出する	
設定	操作	
幾器情報	1/0モニタ	
TCP/IP設定	無線モニタ	
Modbus/TCP設定	メンテナンス	
無線LAN設定		
OHCP設定		

TCP/IP 設定

設定メニューの TCP/IP 設定で下表の項目が設定できます。

反 反 3	TCP/IP設定 ## イ
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
DNSサーバアドレス	0.0.0.0

■設定項目

項目名	説明	初期値
IP アドレス /	本器の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。	192.168.0.1 /
サブネットマスク		255.255.255.0
デフォルトゲートウェ	外部ネットワークにつながるルーターのアドレスを設定します。	0.0.0.0
イ	外部ネットワークと通信しないローカルネット内限定で使用する場合は、デフォルト	
	ゲートウェイの設定は、0.0.0.0(使用しない)のままでかまいません。	
DNS サーバアドレス	DNS サーバのアドレスを設定します。	0.0.0.0
	DHCP サーバ機能をご使用の場合、DHCP クライアントの DNS サーバには本設定が	
	適用されます。	
	DHCP サーバ機能をご使用にならない場合、DNS サーバの設定は 0.0.0.0(使用しな	
	い)のままでかまいません。	

設置場所に適切な内容を設定してください。設定内容がわからない場合は、ネットワーク管理者様、ネットワークの敷設業者様等にご 確認ください。

注意事項

本器のネットワーク設定がわからなくなり、他の機器からネットワークで接続できない場合は、本取扱説明書の「P.4 IP アドレスリセット設定 (IP Reset)」を参照して、ネットワークの初期化を行ってください。

Modbus/TCP 設定

9 戻る	Modbus/TCP設定	保存
ポート	502	
妾続タイムアウト(秒)	60.0	
Runランプ/表示灯ランプ点 Tタイムアウト(秒)	5.0	

設定メニューの Modbus/TCP 設定で下表の項目が設定できます。

■設定項目

項目名	説明	初期値		
ポート	ポート Modbus/TCP 通信で使用する TCP ポート番号を設定します。設定は 1~65535 の範囲			
	で行えます。			
	Modbus/TCP 通信で一般的に使用されているポート番号は 502 ですので、変更の必要			
	がなければそのままご使用ください。			
接続タイムアウト	Modbus/TCP 通信で、無通信の TCP コネクションを切断するまでの時間を設定しま	60.0 秒		
	す。設定は 0.0~3200.0 秒の範囲で行えます。			
Run ランプ/表示灯ラン	Modbus マスターからの読み出し/書き込みクエリが途切れてから、本設定時間が経過	5.0 秒		
プ点灯タイムアウト	すると、Run ランプが消灯して異常を知らせます。設定は 0.0~3200.0 秒の範囲で行			
	えます。			
	機器のディップスイッチ設定で、通信断時、出力クリアにする設定になっている場合			
	は、Run ランプ消灯と同時に表示灯ランプが消灯、ブザーが停止します。			

無線 LAN 設定

設定メニューの無線 LAN 設定で無線 LAN 通信に関する設定が行えます。

本器はモードの切換により、アクセスポイント、ステーション、リピータいずれかとして動作可能です。設定方法はモードにより異な りますので、下記の説明にしたがって設定してください。

5 戻る	無線LAN設定	保存 🖌
モード	アクセスポイント	٢
周波数带域	2.4GHz(IEEE802.11bgn)	٢
チャネル	11 (20MHz)	٢
ネットワーク名(SSID)	test-ssid	9/32
暗号化の種類	なし	۲
WEP+-	00000000000	WEP128 13/26
事前共有キー(PSK)	00000000000	13/64
無線送信出力	100%	\odot
SSIDステルス	無効	۲
アクセスポイント/リピータ MACアドレス	00:80:92:00:00:00	

■アクセスポイントとステーション

アクセスポイントは、複数のステーション(無線子機)を無線ネットワークに接続させる無線親機の役割を持ち、アクセスポイントと 接続している全てのステーションで相互に無線通信できます。また、本器は無線 Ethernet 間のブリッジ機能を持つため、本器の Ethernet 側に接続している Ethernet 機器も、本器と無線接続している機器と通信できます。

本器をアクセスポイントとして動作させる場合、最大32台までの無線子機を接続して使用することができます。



■アクセスポイントとして動作させる場合の設定

項目名	説明	初期値
モード	アクセスポイントを選択してください。	アクセスポイント
周波数带城	無線で使用する周波数帯域を下記から選択してください。	2.4GHz(IEEE802.11bgn)
	2.4GHz(IEEE802.11bgn)	
	5GHz(IEEE802.11an)	
チャネル	無線で使用するチャネルを選択してください。	11 (20MHz)
	チャネルの詳細は「P.12 使用可能チャネルと帯域幅」を参照してください。	
ネットワーク名	アクセスポイント(AP)として動作する際の ID を最大 32 文字の任意の文字列	test-ssid
(SSID)	で設定してください。ステーションからはここで設定したネットワーク名	
	(SSID)を指定して接続することができます。	

IT40SW4 / IT50SW4 / IT60SW4

暗号化の種類	無線で使用する暗号化方式を下記から選択してください。特に理由がない場 合は WPA2-PSK(AES)をご使用になることをおすすめします。 なし WEP WPA-PSK(TKIP) WPA-PSK(AES) WPA2-PSK(TKIP) <u>WPA2-PAK(AES)</u>	WPA2-PSK(AES)
WEP キー	暗号化の種類で WEP を選択時、無線接続に使用するキーを設定してください。 キーは WEP 64 と WEP128 の 2 種類の暗号強度により下記の 2 種類の長さの文字で設定します。 WEP64 5 文字の ASCII 文字、または 10 桁の 16 進数 WEP128 13 文字の ASCII 文字、または 26 桁の 16 進数	0000000000000
事前共有キー(PSK)	暗号化の種類で WPA、WPA2 を選択時、無線接続に使用するキーを設定して ください。 8~63 文字の ASCII 文字、または 64 桁の 16 進数で設定します。	0000000000000
無線送信出力	 無線の送信出力強度を下記から選択してください。 無線送信出力を制限することにより、無線の到達距離の範囲を短くして、他の無線への影響を少なくすることが可能です。 100% 70% 50% 35% 25% 	100%
SSID ステルス	SSID ステルスを「有効」に設定すると、本器はネットワーク名(SSID)を 周りの機器に通知しなくなります。これにより、接続を許可していない無線 ステーションから本器の SSID が見えなくなるため、不正なアクセスを防止 する効果があります。	無効

■ステーションとして動作させる場合の設定

項目名	説明	初期値
モード	ステーションを選択してください。	アクセスポイント
ネットワーク名	接続するアクセスポイントと同じ設定にしてください。	
(SSID)		
暗号化の種類		
WEP キー		
事前共有キー(PSK)		
無線送信出力	アクセスポイント動作時と同様に設定可能です。	

IT40SW4 / IT50SW4 / IT60SW4

■リピータ

リピータは、アクセスポイントの電波を中継することにより無線通信可能エリアを拡大します。本器はアクセスポイント配下に最大 2 台まで数珠つなぎにし、最大 3 台分の電波到達エリアを無線通信可能エリアにすることができます。3 台以上のリピータを数珠つなぎ にすることは設定上可能ですが、動作保証しません。

下図の場合、アクセスポイントとリピータ1は親子関係にあり、アクセスポイントが無線親機です。リピータ間には上下関係があり、 下図のようにアクセスポイントに近い方が上位リピータ、遠い方が下位リピータとなります。

アクセスポイント、リピータ間の無線接続を本器前面の WLAN1、WLAN2 ランプで確認することができます。



■リピータとして動作させる場合の設定

項目名	説明	初期値
モード	リピータを選択してください。	アクセスポイント
周波数帯域	中継するアクセスポイントと同じ設定にしてください。	
チャネル		
ネットワーク名		
(SSID)		
暗号化の種類		
WEP キー		
事前共有キー(PSK)		
SSID ステルス		
無線送信出力	アクセスポイント動作時と同様に設定可能です。	100%
アクセスポイント/	アクセスポイントの MAC アドレスを設定してください。	00:80:92:00:00:00
リピータ	既設のリピータがある場合は、その MAC アドレスを設定してください。	
MACアドレス		

IT40SW4 / IT50SW4 / IT60SW4

■使用可能チャネルと帯域幅

本器で使用可能な無線チャネルは、2.4GHz帯では1~13、5GHz帯では36~64、100~140です。

チャネルは単独(帯域幅 20MHz)で使用することもできますが、チャネルボンディングと呼ばれる方法で、2つのチャネルを束ねて(帯 域幅 40MHz)使用し、通信速度を向上させることもできます。

チャネルボンディングで拡張チャネル(2つ目のチャネル)に選べるチャネルは下表のように通信規格で決まっています。

チャネルボンディングを使用する場合は「1+[5]」等、"+[拡張チャネル]"表記の項目を選択してください。

チャネルボンディングを使用する設定の場合であっても、接続相手がチャネルボンディングに対応していない場合は、単独チャネルで の無線通信が行われます。

帯域		チャネル	拡張チャネル	屋外使用	備考
		1	5		
		2	6		
		3	7		
		4	8		
		5	1または9		
		6	2 または 10		アクセスポイントが無線の混雑となると判定した場合は、拡張チャネ
2.4	GHz	7	3または 11	可	ルを使用する設定にしていたとしても使用せず、単独(帯域幅
		8	4または12		20MHz)チャネルでの無線通信となります。
		9	5または13		
		10	6		
		11	7		
		12	8		
		13	9		
	W52 W53	36	40	- 不可	
		40	36		
		44	48		
		48	44		
		52	56	不可	
		56	52		
		60	64		
		64	60		- 気象レーダー等が使用している電波を避けて動作するためのDFS機 能により、機器却動後1公開け無線通信が停止します
		100	104		
$5 \mathrm{GHz}$		104	100		「「「「なり、「低品にあ」」であって、「「ここな」」。 「気象レーダー等の雷波を検出した場合け」自動的に使用チャネルが変
		108	112		東さわ 1 公問無線通信が停止した後 無線通信開始] ます
		112	108		文に北、1万間 無脉道旧が停止した後、無脉通旧開始しよう。
		116	120	म] 	リピータ機能を使用する場合は これらのチャネルは使用したいでく
	W56	120	116		ださい リピータ機能でこれらチャネルを使用した動作に関してけ保
		124	128		「「ここ」、シーン1歳化くこれのフィイルを使用した動作に関しては休
		128	124		
		132	136		
		136	132		
		140	なし		

注意事項

上表の屋外使用の項目は、法令で定められた無線の屋外使用の可不可を示したものであり、本器の屋外使用を保証するものではありません。

DHCP 設定

設定メニューの DHCP 設定で下表の項目が設定できます。

反 反 3	DHCP設定	保存 🖌
モード	無効	۲
配布開始IPアドレス	192.168.0.50	
配布終了IPアドレス	192.168.0.99	

■設定項目

項目名	説明		初期値
モード	本設定を「有効」に設定する。	と、DHCP サーバ機能が動作します。	無効
	DHCP サーバ機能が有効にな	ると、本器に無線/Ethernet にかかわらず接続した DHCP	
	クライアント機器に下記のア	ドレスを配布し、設定を自動で行います。	
	IPアドレス	配布開始 IP アドレス~配布完了 IP アドレスの範囲内	
	サブネットマスク	TCP/IP 設定のサブネットマスク	
	デフォルトゲートウェイ	TCP/IP 設定のデフォルトゲートウェイ	
	DNS サーバ	TCP/IP 設定の DNS アドレス	
		·	
配布開始 IP アドレス /	DHCP サーバで配布するアドレスの範囲を指定します。		192.168.0.50
配布終了 IP アドレス			/
			192.168.0.99

注意事項

配布 IP アドレスの範囲と DNS アドレスは、必ず本器と直接(デフォルトゲートウェイを介さないで)通信可能なアドレス範囲 を設定してください。直接通信できないアドレス範囲を設定した場合の正常動作は保証できません。 同じネットワーク内に別の DHCP サーバがすでに設置してある場合は、本機能を有効にしないでください。両方のサーバ機能が 衝突し、正常動作しません。

I/O モニタ

設定メニューの I/O モニタで機器のランプやブザーの動作確認を行うことができます。また接点入力信号の状態を確認することもでき

ます。			
▶ 戻る	I/Oモニタ		
機器情報			1
形式機番	IT40SW4-5F XYZ00001	YGBWD2-R	
ファームウェアバージョン	1.0.13	44.60	
WACテトレス 無線受信信号強度	MACアドレス 00:80:92:60:f4:68 無線受信信号強度 00:80:92:60:f4:68		
ランプ状態 (2)			3
ランプ1赤	点灯	点滅	消灯
ランプ2:黄	点灯	点減	消灯
ランプ3:緑	点灯	点滅	消灯
ランブ4:清	点灯	点滅	消灯
ランプ5:白	点灯	点滅	消灯
ブザー	連続	断続	停止
入力信号状態			
COM1 LAMP1 LAMP2 LAMP3 LAMP4 LAMP5 BUZZER1 BUZZER2 BUZ			

■操作項目

	表示項目	説明
1	機器情報	本機器の各種情報が表示されます。
2	ランプ状態	ランプ1~5とブザーの状態を表示します。
3	ボタン	ランプの点灯・点滅・消灯、ブザーの連続・断続・停止を設定します。
4	入力信号状態	接点入力の状態を表示します。

③のボタンで、ランプとブザーの動作確認が行えます。

無線モニタ

設定メニューの無線モニタで近隣のアクセスポイントを検索して表示できます。リピータ動作時は本機能を使用できません。

🕤 戻る		無線モ	ニタ	
ステーション が、検索中に きません。	ステーションとして動作時に近隣のアクセスポイントを検索して表示できます。アクセスポイントとして動作時にも検索して表示できます が、検索中に約5秒~60秒間アクセスポイント動作速度が停止するため、無線接続が切れる場合があります。リピータとして動作時は検索で きません。			
		検索す	3	
СН	SSID	BSSID	RSSI(dBm)	

■操作項目

検索する	近隣のアクセスポイントを検索しま~
使ポリる	」辺隣のアラビハルイマトを快発し。

注意事項

本機能での検索結果はめやすとしてご使用ください。無線の混雑具合などの正確な状態は、サイトサーベイサービスを提供する専 門の業者に依頼し、測定することをおすすめします。

メンテナンス

設定メニューのメンテナンスで下図のメンテナンス操作が行えます。

 反 戻る 	メンテナンス
機器再起動	
	再起動する
ファームウェアアップデート	
(ファイルを選択)ファイル未選択	
	アップデートする

■操作項目

機器再起動 再起動するボタンで機器を再起動します。 ファームウェアアップデート ファイルを選択ボタン (ブラウザによっては参照等、他の名称の場合もあります) でファームウェアファイルを選択し、アップデートするボタンでファームウェアを機器に転送します。転送後、機器を再起動するとファームウェアのアップデートがおこなわれ、アップデート後のバージョンで起動します。		
ファームウェアアップデート ファイルを選択ボタン(ブラウザによっては参照等、他の名称の場合もあります)でファー ムウェアファイルを選択し、アップデートするボタンでファームウェアを機器に転送しま す。転送後、機器を再起動するとファームウェアのアップデートがおこなわれ、アップデー ト後のバージョンで起動します	機器再起動	再起動するボタンで機器を再起動します。
	ファームウェアアップデート	ファイルを選択ボタン(ブラウザによっては参照等、他の名称の場合もあります)でファームウェアファイルを選択し、アップデートするボタンでファームウェアを機器に転送します。転送後、機器を再起動するとファームウェアのアップデートがおこなわれ、アップデート後のバージョンで起動します。